

## 解体業者の皆さまへのお願い

# 安全装置を働かせていない機械式シートベルト プリテンショナーが引き渡されています!

機械式シートベルトプリテンショナーを取外回収する時は、  
必ず安全装置を働かせて作業を行ってください!!

## ○ 国産車の機械式シートベルトプリテンショナーの 安全装置は**手動で働かせる**必要があります。

☞ 機械式シートベルトプリテンショナーを車台から取り外すときは、まず安全装置を働かせた上で取外しの作業を行ってください。

## ○ 安全装置が働いていないと衝撃で誤作動する場合 があり大変危険ですので、**必ず安全装置を働かせて** 引き渡して下さい。

☞ 機械式シートベルトプリテンショナーが誤作動すると、内部に組み込まれているバネ等が本体から飛び散る可能性があります。  
また、作動済みの機械式シートベルトプリテンショナーは引取拒否となり、リサイクル料金のお支払いもできなくなりますのでご注意ください。

※ 機械式シートベルトプリテンショナーが装備されているかどうかは、ベルトのタグ表示、車台詳細情報画面等で確認することができます。

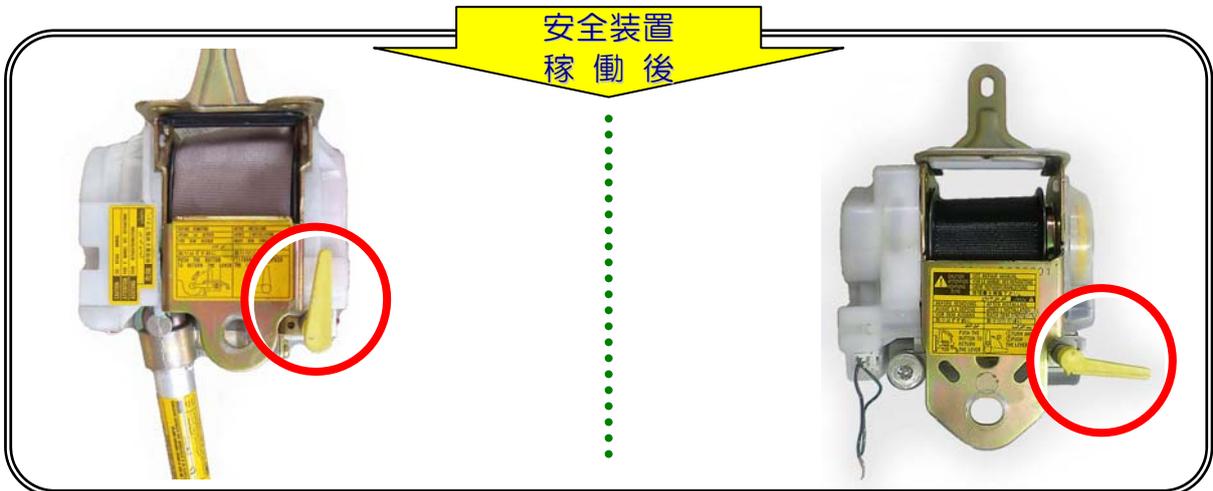
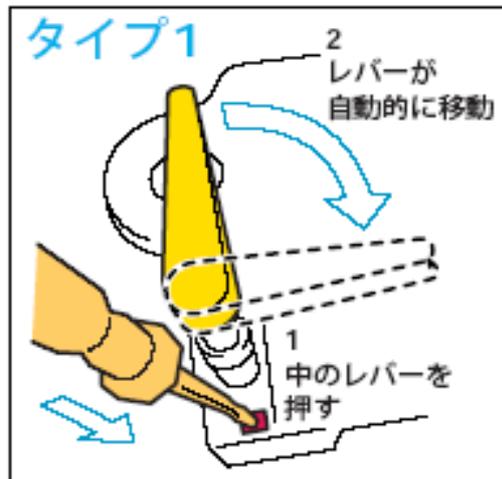
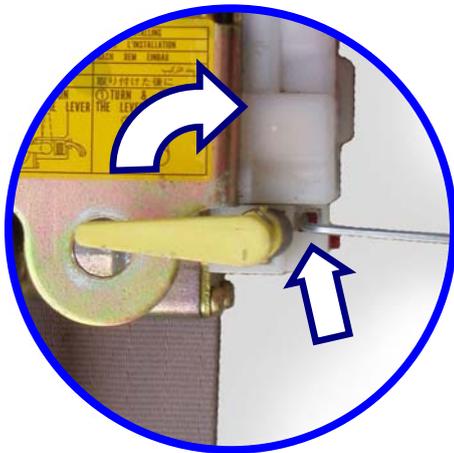
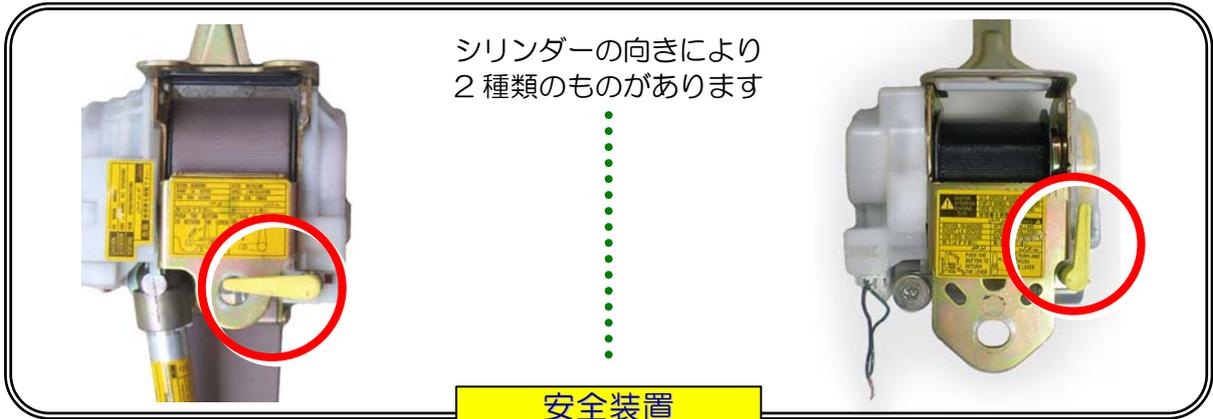
※ 車上作動処理委託契約を締結いただいている場合は、従来通り車上作動処理を実施して下さい。

## 機械式シートベルトプリテンショナーの安全装置と働かせ方 (国産車)

国産車には主に3タイプの機械式シートベルトプリテンショナーがあります。  
(輸入車については別途ご案内させていただきます)

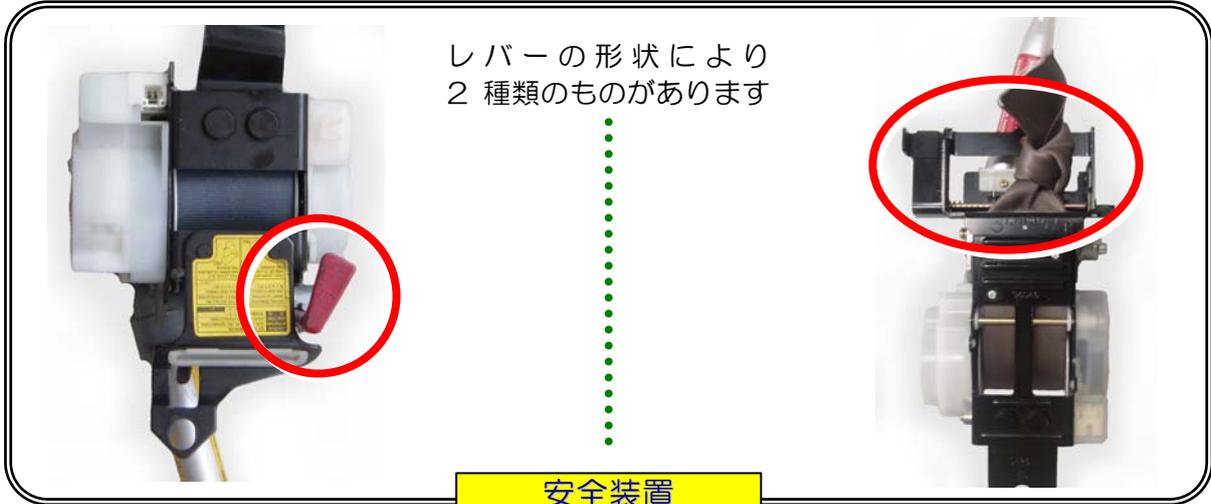
### タイプ1 (トヨタ)

黄色いレバー横の窓中にある小さな赤いピンをドライバー等で押すと、レバーが自動的に90度回転して安全装置が働きます。

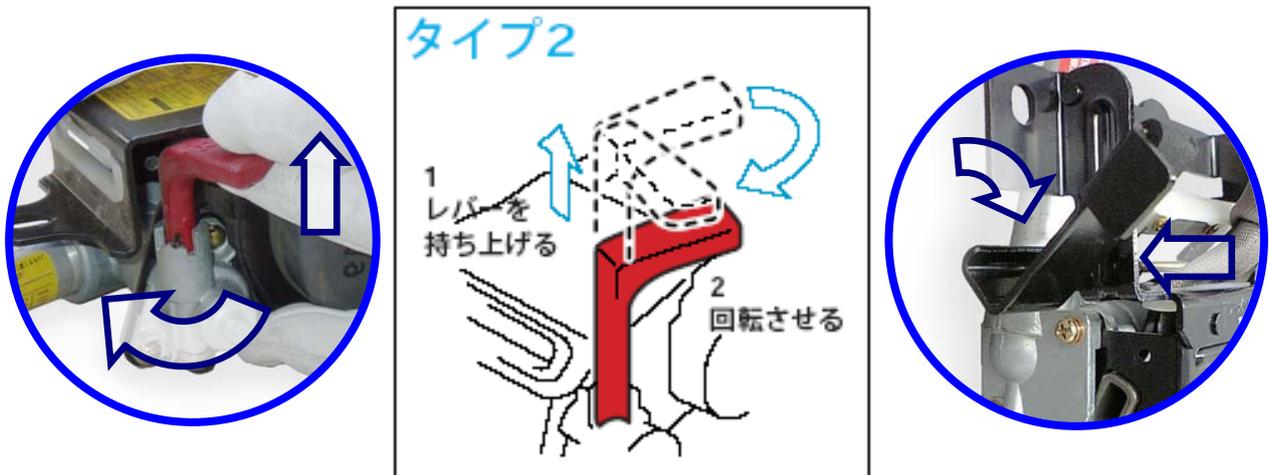


**タイプ2 (トヨタ・三菱・三菱ふそう)**

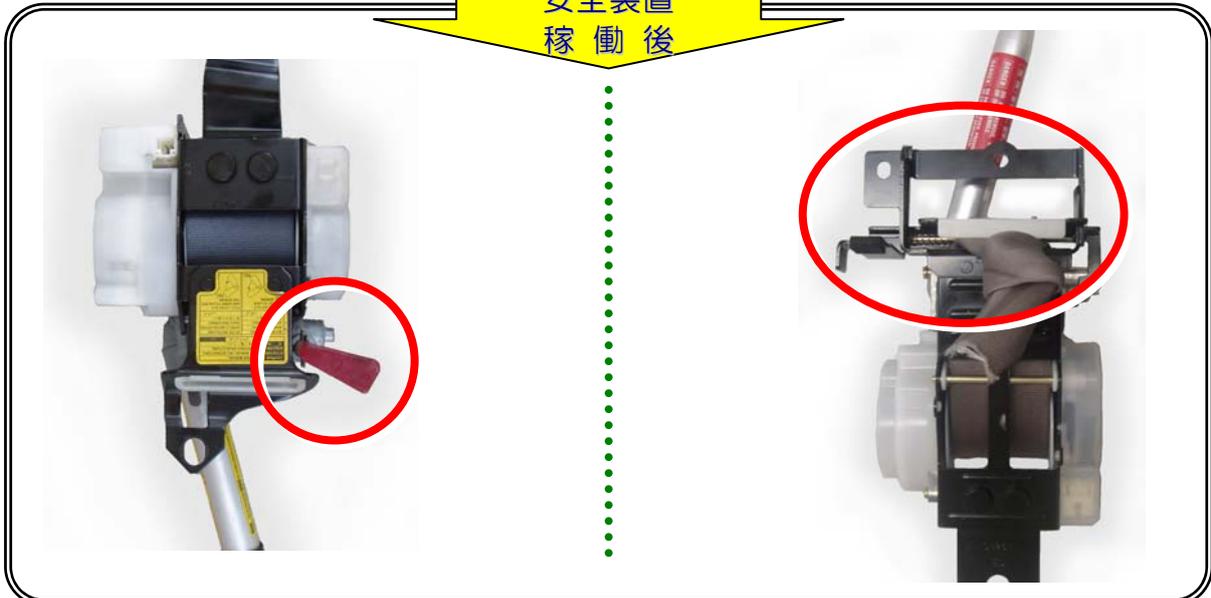
レバーを引きながら持ち上げ90度回転させることにより、安全装置を働かせることができます。



安全装置  
稼働前



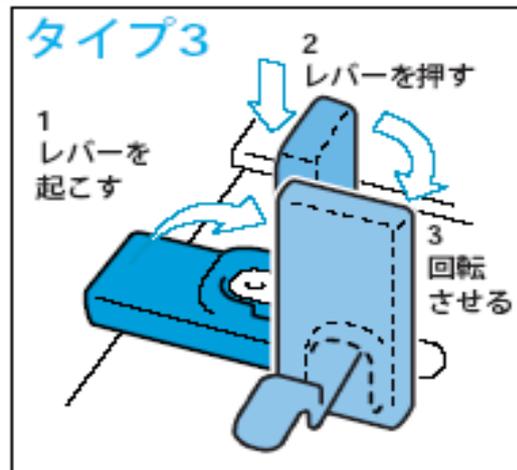
安全装置  
稼働後



### タイプ3 (トヨタ・富士重工業)

白いプラスチックを起こし、鉄製のレバーを押しながら90度回転させることにより、安全装置を働かせることができます。

※ 富士重工業のものは白いプラスチックが付いていないのでご注意ください。



取扱いの詳細は、自動車メーカー等の適正処理情報を参照してください。